

子どもが思いっきり遊べる場所を岩見沢につくろう 発行=岩見沢プレーパーク研究会

プレーパークとは?

プレーパークってふつうの遊び場と違うの?

子どもがやりたいことができるように環境を整えています。なにかに挑戦したり冒険したり、ワクワク・ドキドキする体験をたいせつにしています。失敗や子どもどうしのトラブルも大切な経験。ここではちょっと見守ってみましょう。

何歳から遊べるの?

赤ちゃんから大人まで、子ども心のままに遊べます。じっとアリを見ていてもいいし、ひたすら穴をほるのも遊びです。小さい子は大きい子のすることを見て、自分もいつかやってみたいと気持ちをおくらせます。

岩見沢のプレーパークには、おもに1歳から小学生の子どもたちが集まっています。
※未就学児は保護者同伴でお願いします

持って行くといいものは?

汚れてもいい服と靴にして、できるだけ替えの服や靴、タオルなどを持って行くといいです。汚れるからダメって子どもに言わなくてすみますね。思いっきり遊べる方がだんぜん楽しいですよ。一日中遊ぶときは、飲み物や、おにぎりなどを用意してください。

スケジュール

東山公園 スポーツセンター横、テニスコート	栗沢中央公園 遊具の横
7月 9日 (木) 2時半～4時半	7月 8日 (水) 2時半～4時半
7月 23日 (木) 2時半～4時半	9月 15日 (火) 9時～12時
8月 7日 (金) 10時～12時	栗沢上幌地区集会所
8月 8日 (土) 10時～12時	(元上幌小) 利用料1人100円
8月 27日 (木) 2時半～4時半	8月 1日 (土) 10時～4時半
9月 10日 (木) 2時半～4時半	8月 2日 (日) 10時～2時
9月 24日 (木) 2時半～4時半	予定の変更や中止はFacebookでお知らせします

学校の現場から 遊びがつなぐ子どもの世界 村越含博

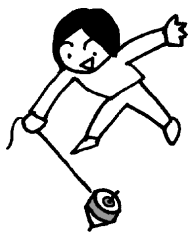
「これで2時間目の授業を終わります!」
子どもたち十名ほどがこのあいさつの直後、教室の後ろにある棚にかけより、引き出しをあけ、われ先にと、あるものを手に取ります。木のぬくもりを握りしめ、1メートル弱のひもを絡めながら、歓声をあげます。

「俺の方がよく回る!」
「ずるい、後から投げたくせに!」
「よし、〇〇君、※※君勝負しよう!」
そんな様子を少し離れたところから見ていたひとりの子が、輪の中で歓声を上げる子に声をかけます。
「ねえ、△△君、どうやってやるの? 教えて!」
「いいよ! まず、ひもを軸に引っ掛けてね…」

これは、私の担任する教室のある日の休み時間の光景です。子どもたちが楽しんでいるのは、コマ。私の教室にはコマが20個、そのほかにも子どもたちが関わりながら遊べるちょっとした道具が置いてあります。子どもたちはルールを守りながらいつも遊んでいます。

この教室の光景からも、子ども達の社会性=人と関わり合いながら生活する姿の萌芽が見て取れます。

- ・ルール通りに遊ぶことを大事にする姿
- ・誘い合いながら遊びを楽しむ姿
- ・コマのまわり方を教えてと、関わりを求める姿
- ・コマの遊び方を知らない子に、回し方を教えてあげる姿



村越含博プロフィール
教育大学岩見沢校在学中にACIいわみざわを設立し、地域の子どもたちを集めた遊びの活動を始めた。現在、岩見沢市立日の出小学校教諭。地域に根ざした教育にも力を入れている

遊びの提案「どろ」

どろだんごづくり

泥を丸めてつくる球団子。何時か食べてたいのをつつたり、光らしたり、転がしたり。

ままごとあそび

毎回、いろいろな遊びを企画しています。今日はどろ。

泥でいろいろな物をつくって、食べたり、飾ったり。お花や木の葉で飾ったり。

どろでおえかき

ゆるめの泥で壁や床にお絵描き。自分やお友達たちの体に手平のペクタン、大きな糸に描いても面白い。

どろにんげん

泥に慣れて夢中になつくと、いつの間にか全身泥まみれの泥入りに。

かわづくり

土の中に水を流込んで川づくり。溝を掘って川を流したり、途中でも水をくんだり。

ほかにもたのしいいっぱい
みんなもおもしろい、きりどろあそびをたのぼう

泥遊び ここがポイント

- POINT 01 身も心も解放してくれます**
適度な柔らかさの泥を触っていると気持ちの良いものです。水や砂、土などの自然物は身も心も解放し、ストレス発散にもなります。そしていつの間にか素の自分になっていることに気が付きます。
- POINT 02 いろいろな形に変化します**
水、土の量を調節すると固さや感触が変わっていきます。そのことで遊びがどんどん広がります。例えば固めの泥で団子作り、緩めの泥で全身バック(慣れると気持ちいい〜)水をどンドン流して川作りなど他にもいっぱい。
- POINT 03 強い体を作ります**
戸外で水や泥などに触ることは適度な刺激になり、皮膚が強くなります。また雑菌に対する抵抗力も強くなると言われています。



全国でプレーパークとそれを支える仕組みが生まれています

- ◎「子ども夢パーク」(神奈川県川崎市)
子どもの、子どもによる、子どものための活動拠点としてつくられた公設民営の施設。フリースクールや音楽スタジオなどの屋内施設と屋外のプレーパークがある。
 - ◎「プレーパーク推進事業」(札幌市)
プレーリーダーの派遣や道具の貸し出しのほか、研修講座や出前講座で開催をあとおしている。
 - ◎「放課後等の遊び場づくり事業」(福岡市)
放課後の校庭がプレーパークに! 安心して自由に遊びができる場や機会をつくる通称「わいわい広場」を推進。
- 全国では、子どもの遊び場づくりのさまざまな事例があります。
岩見沢にも常設のプレーパークをつくりたい、そんな思いで「岩見沢プレーパーク研究会」は活動をしています

遊びの「素材」集めています! 支援のおおかわい

◎絵具、ペンキ、筆、釘、金具、木材、のこぎり、ガムテープ、ビニールテープなど工作に使えるもの。ご提供いただけるようでしたら、以下、ご連絡を!

◎会の活動に賛同して下さる個人・企業の方に一口1000円の協賛金をお願いしています。遊び道具や消耗品の購入、かわら版の印刷などに充てさせていただきます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。